



水谷公民館だより

編集 水谷公民館だより編集委員会
発行 富士見市立水谷公民館 / 住所 富士見市水谷 1-13-6
TEL 049-251-1129 / FAX 049-255-9886

もくじ

<1面>

・特集 富士見環境センターを訪ねて

<2面>

・水谷公民館からのお知らせ
・こんにちはコーナー



ベルトコンベヤで運ばれ、手作業で分別されるプラスチック

富士見環境 センターを訪ねて

ごみとは、一般には生活に伴って発生する不要なもので、ないほうが良いものとされています。しかし、皆さんもご存知のように今は「ごみは資源」という考えが定着しています。そこで、富士見市の家庭ごみはどこで処理され、資源化されるのになどの作業が行われているのか取材しました。

編集委員 細谷 充男

◆収集されたごみはどこへ？

国道254号富士見川越バイパス沿いにある商業施設から北へ約400メートルの所に「志木地区衛生組合富士見環境センター」があります。

そこでは富士見市、志木市、新座市から発生するごみを処理しています。令和6年度の一日当たり平均搬入量は可燃ごみ約70ト、不燃ごみ約6ト、粗大ごみ約7ト、ビン約6トです。

◆施設はいつから開始したの？

昭和61年(1986年)から運転を開始して、令和2年度から令和4年度にかけて基幹改良工事を行い現在に至っています。

◆可燃ごみはどうなるの？

可燃ごみ(もえるごみ)は焼却炉で850℃950度で燃やされ、灰となります。その灰は県内では寄居町の処分場へ運ばれて埋め立てられています。また、灰の一部は、道路のアスファルトやコンクリートの路盤材として利用されています。

◆資源プラスチックはどうなるの？

搬入された資源プラスチックは数列のベルトコンベヤで運ばれ、手作業で選別作業されたのち、約200kgに圧縮し、結束して搬出します。その後、プラスチックの原料としてリサイクル(マテリアルリサイクル)され、再利用されています。

この梱包された資源プラスチックの異物混入率は極めて低く、日本容器包装リサイクル協会から昨年度はAランクの評価を受けています。

異物混入率が低いとリサイクル製品の品質向上にもつながり、リサイクルに要する費用の削減にもなります。



圧縮し、梱包された資源プラスチック

◆ビンやカンはどうなるの？

ビンは、再生可能なものとそれ以外のものに分別し、ベルトコンベヤで運ばれ、手作業でビンの色選別等を行い、各ヤードに運ばれます。カンはヤードで保管し、搬出しています。それぞれ、再利用されたり原材料として活用されています。



◆粗大ごみや不燃ごみはどうして

粗大ごみ(おおきなごみ)や不燃ごみ(もえないごみ)は回転式の破砕機で粉砕し、可燃物と不燃物に分別してからヤードへ運ばれ、搬出します。家具で再利用できると判断された物は加工修理等をしてリサイクルプラザ利彩館で抽選販売をしています。抽選方法などの詳細は利彩館のホームページでお知らせいたしますのでご利用ください。



可燃ごみ ごみピット内

見学を終えて

ごみの再利用は、私たちの分別への理解・協力とその処理に携わる人々や施設が一体となっていく事業であることを改めて実感しました。

特に、ベルトコンベヤで運ばれた資源プラスチックを手作業で選別している作業を、実際に見学させて頂き、大変に驚きました。

その成果として、資源プラスチックのリサイクル原料としての異物混入率が極めて少ない高品質ランクに評価されたことに作業されている方々への感謝と分別への意欲が更に湧きました。

【取材協力】

志木地区衛生組合
富士見環境センター

*ごみ焼却施設では24時間休まずに1班4人の交代体制で焼却炉施設の運転監視をしています。

